

第29回県社保協総会記念講演会

コロナ禍の経験をふまえ、社会保障政策の転換を

新型コロナウイルス感染症の拡大は、日本社会のあり方を問いただしているのではないのでしょうか。この間非正規労働者が増やされ、コロナ禍で生活破綻に追いやられ、600万人をこす労働者が休業・失業を余儀なくされました。医療体制は逼迫し、現場では慢性的な人手不足のためにギリギリの人数で対応せざるを得ず、医療崩壊が心配されています。また、コロナ禍で、424病院の統廃合名指しに象徴される、病院ベッド減らしや医療費削減の施策が問われています。

これまでの弱肉強食社会、格差社会を見直さなければなりません。しかし、菅内閣は「自助」を前面に押し出し、「公助」は小さくして、民間の金儲けの市場に任せるという新自由主義の考え方を踏襲しています。

安全・安心の社会、セーフティネットの再構築をめざす運動を考える機会にできればと思います。

■日時 **11月21日** (土) 14時30分開会

■場所 **和歌山市勤労者総合センター6階ホール**

■講師 **二宮 厚美 氏**

(プロフィール) 1947年愛媛県生まれ、神戸大学名誉教授。専門は経済学、社会環境論。主な著書として『終活期の安倍政権』(新日本出版社)、『安倍政権の末路』(旬報社)等がある。



※参加費無料。定員40人。(先着順)

事前に下記の講演会場への参加申込みがなければ、
ご参加いただけません。ご協力お願いします。

(マスク着用、熱・咳など体調不良の方はご遠慮下さい。)

※近畿社保協の協力を得て、「ZOOM」を用いて、ライブ配信も行います。配信を希望される方は、11月18日までに下記のアドレスに、お名前・所属団体、個人の場合はご住所を記載したメールを送信下さい。講演前日までに、メールにて講演招待状をお送りいたします。

メールアドレス：hok-wakayama@doc-net.or.jp

主催 和歌山県社会保障推進協議会 TEL073-425-9355

協力 近畿各府県社会保障推進協議会

< 講演会場への参加申込書 >

FAX 番号：073-488-7623 までお送り下さい。

おなまえ		電話番号	
------	--	------	--